

# 俺と雪

book-fukunokami

## 俺と雪

---

「俺も黒い犬と雪の上で遊ぶんだ」

俺は雪の上で黒い犬に向かって叫んだ。

そうだ、そうそう喫茶店の黒い犬だ。

偶然、雪の上で黒い犬に会った。

どうやら雪かきをしようとしていた俺に遊びに来てくれたらしい。

こうなりゃ雪かきは後だ。

「わん、わんわん」

黒い犬は吠えた。

すると。

雪が溶けた。

なんという黒い犬だ、吠えると雪が溶けるのか。

「わん、わんわんわん、わん」

雪が1メートル四方溶けてなくなった。

すごいぞ、すごいぞ、黒いわんちゃん。

「わんわん、くいーん」

今度は雪が降ってきた。

「おいおい、その鳴き声で吠えるのは止めてくれ」

「わん、わんわん」

今度は降った雪が溶けた。